

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公開番号】特開2010-240124(P2010-240124A)

【公開日】平成22年10月28日(2010.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-043

【出願番号】特願2009-91610(P2009-91610)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 1 4
A 6 3 F	7/02	3 2 0
A 6 3 F	7/02	3 1 5 A
A 6 3 F	7/02	3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月28日(2012.3.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可動片を有し、該可動片が動作したときにのみ遊技領域に打ち込まれた遊技球の内部領域への進入が可能とされる開閉役物装置と、前記開閉役物装置の内部領域にて設けられる特別領域を特定の周期をもって変位させることによって前記内部領域に進入した遊技球が前記特別領域に振り分けられるか否かについての振分け抽選を行う機械抽選装置と、を備え、前記特別領域に遊技球が振り分けられたときには所定条件が満たされているか否かに応じて通常遊技状態と該通常遊技状態よりも遊技者に有利な特定遊技状態とのいずれかを発生し得る遊技機において、

前記遊技領域に打ち込まれた遊技球に対して開放された通過口と、

可動部材を有し、該可動部材が動作したときにのみ前記遊技領域に打ち込まれた遊技球が受け入れ可能とされる始動口と、

前記開閉役物装置の内部領域に進入した遊技球が前記特別領域に振り分けられるか否かの結果に影響を及ぼすように動作可能な内部役物と、

前記通過口を遊技球が通過したことに基づいて、前記始動口への遊技球の受け入れが可能とされるように前記可動部材の駆動制御を実行可能な第1の駆動制御手段と、

前記第1の駆動制御手段による駆動制御によって受け入れ可能とされた前記始動口に遊技球が受け入れられたことに基づいて、前記開閉役物装置の内部領域への遊技球の進入が可能とされるように前記可動片の駆動制御を実行可能であるとともに、前記開閉役物装置の内部領域にて設けられる前記内部役物の動作にかかる制御についても実行可能な第2の駆動制御手段と、

前記第2の駆動制御手段による駆動制御によって開放された前記開閉役物装置の内部領域に進入した遊技球が前記特別領域に振り分けられたことに基づいて、遊技者に有利な大当たり遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、を備え、

前記第2の駆動制御手段は、

前記始動口に遊技球が受け入れられたとき、所定の表示部にて現れる図柄の変動時間を選択する変動パターン設定手段、及び

前記変動パターン設定手段により選択された変動時間だけ前記図柄を変動表示させた後に停止表示させる図柄変動制御手段、及び

前記図柄変動制御手段により前記図柄が停止表示された後に前記可動片を動作させる駆動制御実行手段、及び

前記図柄変動制御手段により前記図柄が停止表示されてから一定期間が経過したときに前記開閉役物装置の内部領域にて設けられる前記内部役物を動作させる内部役物動作制御手段

を有しており、

前記変動パターン設定手段は、

前記通常遊技状態における前記図柄の変動時間の選択に際しては、前記特定遊技状態が終了してから早い段階である引き戻し遊技状態と、前記特定遊技状態が終了してから遅い段階であるノーマル遊技状態とのいずれにあるかを判断するとともに、前記引き戻し遊技状態にある旨判断したときには、前記ノーマル遊技状態にある旨判断したときよりも特定の変動時間を高い確率をもって選択する引き戻し選択手段

を有することで、前記引き戻し遊技状態においては、前記始動口に遊技球が受け入れられてから前記特別領域に遊技球が振り分けられるか否かの結果に影響を及ぼすように前記内部役物が動作するまでの時間にバラツキが現れ難くするものであるにもかかわらず、

前記第1の駆動制御手段は、

前記通常遊技状態のうちの前記引き戻し遊技状態にあるときに前記通過口を遊技球が通過したときには、前記特定遊技状態にあるときに前記通過口を遊技球が通過したときよりも前記始動口に遊技球が受け入れられ難くなるようにするとともに、前記始動口への遊技球の受け入れが可能とされる始動開放時間についても前記特別領域の変位に要する前記特定の周期よりも短くなるように前記可動部材の駆動制御を行うタイミング限定手段

を有することで、前記引き戻し遊技状態においては、前記特定の周期のうちの一部のタイミングでは前記始動口への遊技球の受け入れが不可能とされるように前記可動部材が動作するようにした

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記始動口に遊技球が受け入れられたことに基づいて、前記開閉役物装置の内部領域への遊技球の進入が可能とされる前記可動片の駆動制御に先だって内部抽選を行う抽選手段をさらに備え、

前記特別遊技実行手段は、

前記開閉役物装置の内部領域に進入した遊技球が前記特別領域に振り分けられたときだけでなく、前記内部抽選の結果が特別の結果であるときにも、遊技者に有利な大当たり遊技を実行可能である

請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記演出画像表示装置は、液晶表示領域を有する

請求項1または2に記載の遊技機。